令和6年度第9回朝来市教育委員会 定例会議録

1 日 時 令和6年12月20日(金)

開会 午前9時00分 閉会 午前10時07分

2 開会宣言

3 会議録署名委員の指名 (青田委員) (高内委員)

4 会議録の承認

令和6年度第7回会議録署名委員 (足立委員) (青田委員)

5 教育長報告

6 議事

議案第18号 令和6年度教育委員会の点検・評価について

議案第19号 令和6年度一般会計補正予算について

(教育委員会関係抜粋)

7 報告事項

(1) 第21回朝来市議会定例会一般質問について

(2) 令和7年朝来市二十歳を祝う会について

(3) 令和7年度入学式の日程について

(4) 教育委員会行事予定について

(5) 次回 第10回教育委員会の日程について

日時：令和7年1月20日（月）午前10時00分

場所：朝来市役所 本庁舎 403会議室

8 閉会

9 出席委員 教 育 長 小倉畑 祐貴

教育長職務代理者 青田 勉

委 員 足立 武裕

委 員 高内 祥子

委 員 能見 愛子

10 出席職員 教育部長 田中 勉

教育委員会事務局次長

兼学校教育課長 山本 喜裕

学校給食センター所長 藤本 宏子

学校教育課参事 福田 秀則

学校教育課主査 片岡 修

朝来市教育委員会会議録

令和6年度第9回定例委員会（令和6年12月20日）

開会 午前9時00分

○ 小倉畑教育長

ただいまから、令和6年度第9回朝来市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は4名の委員、全て出席ですので、会議は成立いたします。

本日の会議に出席する職員は、田中教育部長、山本教育委員会事務局次長兼学校教育課長、藤本学校給食センター所長、福田学校教育課参事、片岡学校教育課主査の5名でございます。よろしくお願ひいたします。

次に、次第の3「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員には、青田委員、高内委員に願ひいたします。

次に、次第4「会議録の承認」に移ります。

令和6年11月22日に開催しました令和6年度第8回朝来市教育委員会定例会の会議録は、委員の皆様事前に配付しておりますが、何かお気づきの点はございませんか。

特に御意見がないようですので、前回の会議録は原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○ 小倉畑教育長

第8回定例会会議録の署名を、足立委員、青田委員に願ひいたします。

（会議録署名）

○ 小倉畑教育長

次に、次第5「教育長報告」に移ります。

事務局から報告いたします。

○ 山本次長

資料説明

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

ないので、教育長報告を終わります。

次に、議事に入ります。

議案第18号 令和6年度教育委員会の点検・評価について、学校教育課から説明いたします。

○ 福田参事

教育委員会事務の点検・評価は地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第 26 条の規定により、毎年行っているものでございます。

また、2 番の「点検・評価の目的」では点検・評価を行うことにより、運営事務事業の課題や取組の方向性を明らかにして、教育行政の効果的な推進を図ることを目的に実施しております。点検の対象事業は、令和 5 年度事業評価書にあるものということになります。

教育委員会につきましては、4 ページになります。5 番「教育委員会の構成」から始まって、「教育委員会の開催状況」を 4、5、6 ページでお示しさせていただいております。

これらの事業について 7 番「外部評価者の意見」ということで、昨年度に引き続きで福知山公立大学の池野英利教授に外部評価をしていただいております。

その中で、自己肯定感や将来に対しての希望等を育成するためには、様々な個性を持つ子どもたちを受け入れる社会をつくっていくことの必要性を教育委員会が中心になって発信していくよう御教示いただいているところでございます。また、答えは一つであり、その一つの答えを子どもたちがいかに早く正確に再生するかという授業ではなく、こういう考え方もある、こういう見方もあるということ子どもたちが協働的に学んでいくことの大切さを御助言いただいております。これにつきましては、学校訪問で委員の方々にも見ていただいておりますとおあり、今、朝来市が取り組んでいるところでございます。

次に、基本方針Ⅱのところでは第 4 期朝来市教育振興基本計画でお示しする、子どもから高齢者までの方々からお力をお借りして地域総ぐるみの教育の展開についても池野教授から御指摘いただいている、たくさんの方に関わっていただいて、いろんな経験をするということの大切さを教育振興基本計画に反映させていきたいと考えております。

今回いただいた御指摘の中で継続的な課題となってしまったのが、教育委員会と学校の効果的な情報発信というところになります。学校はこんなところを頑張っているよ、教育委員会はこんなことをやっているよというところが、あまり地域の方々、市民の方々、校区の保護者の方々にうまく伝えられていないことを御指摘いただいております。昨年度、その前の年もそうなのですが、そこを何とかしたいと考え、今、市では利用者の多い「LINE」を使って市の取組を市民の方に知っていただくというような取組をしています。学校においては、さくら連絡網を使って学校から事務的な連絡は行くんですが、こんなことを頑張っているよというような情報の発信には至っておりません。ICT 機器等を使っていろんな情報発信をしていくことが引き続きの課題と事務局では認識しているところでございます。

ページ数も多いですし、事業も非常にたくさんになりますので、事前に担当からお配りをさせていただいていると思いますが、もし御意見、御質問等がございましたらお寄せいただ

けたらと考えております。

以上でございます。

○ 小倉畑教育長

説明が終わりました。何か御質問はございませんか。

参事、2 ページの上から 3 行目のところに「広く公表」とありますが、教育委員さん以外にどなたのところかというのを幾つか例示していただけますか。

○ 福田参事

具体的には、この委員会とホームページに上げさせていただきますので、見ていただける方は皆さん見ていただけるという状況で、どこかにプリントするようなことはございません。

○ 小倉畑教育長

ありがとうございます。そういう感じで広く公表ということも取り組んでおりますので、御了解いただきたいと思います。

では、この件については異議なしと認めてよろしいでしょうか。

議案第 18 号 令和 6 年度教育委員会の点検・評価については、原案のとおり承認いたします。

次に、議案第 19 号 令和 6 年朝来市一般会計補正予算について、学校教育課から説明いたします。

○ 田中部長

それでは私から、議案第 19 号について御説明させていただきます。

資料の 2 ページを横にさせていただいて御覧いただきたいと思います。

議案第 19 号 令和 6 年度一般会計補正予算（第 5 号）についての御説明させていただきます。

まず、教育費、中学校維持管理事業でございますが、市内各中学校における生徒の部活動の大会結果を踏まえまして、県大会等上位大会への参加もしくは参加見込みがあるため補助金を追加するものでございます。全体の執行見込額 1,025 万 8,000 円から現計予算額 656 万 3,000 円を差し引きした 369 万 5,000 円の追加でございます。

次に、中学校整備事業でございますが、令和 7 年度から朝来中学校において特別支援教室を 2 教室から 3 教室へ再編成する必要が生じているため、校舎 2 階に所要の環境整備を行うとともに、1 階にございます校内サポートルームの空調機器老朽化に伴い、これを更新する工事を合わせ、348 万 2,000 円の追加補正となっております。

次の段には、光熱費追加分について掲載させていただいております。教育委員会が所管いたします各施設の電気代高騰に伴う追加でございます。それぞれ御確認いただきたいと思います。

ます。

最後の段ですが、債務負担行為補正でございますが、小学校スクールバス運行管理及び整備管理業務、生野校区、生野小学校区でございますが、今後令和7年度の契約に向けた業務を開始する中で、現在の債務負担行為限度額では不足が見込まれるため、限度額を1,200万円にするため、700万円の増額変更を行うものでございます。

以上が、議案第19号 令和6年度一般会計補正予算（第5号）についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○ 小倉畑教育長

説明が終わりました。何か御質問はございませんか。

○ 委員

ちょっとよく分からないんですけども、これはただ単に電気代自体が値上げになっているからということの不足分ですか。

○ 田中部長

そういうことでございます。

○ 委員

これから先に学校の証明がLEDに変わったりとかしていくと、そういうふうな支出が減っていくとか、そういうこととは関係ないのでしょうか。

○ 田中部長

そのこととは関係なくて、もう全市的に施設で電気代が足りないということで、教育委員会所管の高圧受電施設の分を補正するということです。

○ 委員

そういうことなんですね。ありがとうございます。

○ 小倉畑教育長

ほかにございませんか。

それでは、この件は異議なしと認めて、議案第19号 令和6年度朝来市一般会計補正予算については、原案のとおり承認いたします。

本日の議事が終わりました。

続いて、報告事項に入ります。報告（1）ですが、第21回朝来市議会定例会一般質問について、学校教育課から報告いたします。

○ 田中部長

12月議会一般質問状況ということで報告させていただきます。

12月9日から11日の3日間にかけて開催されました第21回朝来市議会定例会の一般質問

の概要を説明させていただくわけですが、今回代表質問 3 件及び個人質問 9 件の計 12 件の質問がございまして、教育委員会に関します質問が 8 件ございました。先ほどお配りしました一般質問通告書の資料を御覧いただきながらの説明となりますので、よろしく願いいたします

まず、代表質問、通告 1 番、日下議員から「未来への投資」ということで、教育費は未来への投資、見解と決断を求めるとの質問があり、教育長から、教育費は未来への投資という側面もあり、加えて現在の子供たちはこれからも予測困難な時代を生きていくとされており、持続可能な社会構築の担い手としても、豊かで幸せな人生を切り開く資質能力を身につける必要もあると考えていると回答いたしております。

次に、通告 3 番に飛びますので、6 ページを御覧いただきたいと思います。

松井議員から「情報の取り扱いについて」ということで、SNS の取扱いや影響に対して、市内の各校において教育上での指導を新たに取り入れるようなことは考えていないかとの質問があり、教育長から警察や関係機関などから講師を招くなど学ぶ場を設定。また、保護者にもそのような機会をつくっている学校もある。さらに、人権擁護の観点から情報モラルについて学ぶ機会を設定していると回答しました。一方的で無責任な情報発信によって民意がゆがめられたと指摘する声がある中、どのような対策が必要と考えるかとの質問があり、自分の考えを持つ児童生徒の育成を目指すため、主体的、対話的で深い学びを実現する。自分の意見を伝える場面を設定すること、根拠を明らかにして自分の意見を発表する。さらに、話し手の意見を受け止め、なぜそう考えるのかを話し合うことなど、日々の授業や教育活動に取り入れ、情報を適切に受け止め発信できる児童生徒の育成が大切であると回答いたしております。

次に、通告 2 番、8 ページ、吉田議員から「教育振興について」ということで、学校からの要望数に対して、実際に配置する学びのサポーター数には大きな開きがあるようである。また、市ではユニバーサル教育を推進するに当たりアセスメントを実施しているが、どのように反映されているのかと質問があり、教育長から支援を要する児童生徒に対し、学びのサポーター配置以外の方法で対応可能と判断する場合もあり、並行して教職員個々の資質向上と児童生徒の実態や背景を踏まえた授業を行うこととともに同時に取り組んでいる。各校で行っているアセスメントは、学びのサポーターの配置の判断材料という以上に児童生徒の実態を踏まえた授業づくりや指導、資質能力の向上に資するものと御理解いただきたいと思います。平和教育の必要性がさらに増していることから、修学旅行で広島や長崎に一度は訪れるべきではないか。また、修学旅行費用に対する助成制度を創設すべきと考えるがどうかとの質問に対し、平和教育を目的とした修学旅行を行うことで、平和についての学びを体感が伴った

学びとすることもできることから、学校に選択肢の一つとして、情報共有していこうと考えている。また、助成制度の創設については、近隣市町の状況などを必要に応じて調査研究してまいりたいと回答いたしております。

次に、通告4番の関議員でございます。13ページを御覧ください。

「本市の学校部活動及び地域での活動について」ということで、部活動はどのような教育的位置づけかとの質問に対し、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるよう留意することとなり、各種団体との連携など持続可能な運営体制が整えられるようにするものとされており、学校教育の一環ではあるが教育課程外の活動であると回答いたしております。

続いて、学校の部活動、学校外のクラブに所属する生徒の割合について質問があり、学校の部活動に所属している生徒の割合は、朝来市全体で77.6%。学校外の活動については様々なクラブ等に参加しているが、人数や割合は把握していないと回答しております。

また、部活動指導員の招聘や生涯学習課の人材バンクの活用について質問がありました。会計年度任用職員として現在2名の方に部活動指導員として勤務いただいている。また、人材バンクへの登録や利用促進を図ることにより、新たな人材を育成するだけでなく、幅広い市民の皆様の参画の下に、地域の支え合いにもつなげてまいりたいと回答しております。

続きまして、合同部活動の検討はあるのかという質問に対し、合同活動については持続可能な解決策とは言えず、今後は多様な選択肢を子供たちに提示していくことが大切だと考えていると回答し、部活動への「兼職・兼業・兼務」へのサポート料について本市として準備し、顧問をしてくださる教員を確保してはどうかとの質問に対し、地域におけるスポーツ文化芸術団体をモデルにしつつ、スポーツ庁、文化庁が言うように、可能な限り家庭負担が生じない低廉な負担になるような方向でお願いし、確保していきたいと考えていると回答し、但馬検定を学校で紹介し、チャレンジを促進してはどうかと質問があり、但馬検定は私たちが生まれ育った但馬を理解するよいきっかけになると考えられるため、周知の機会を設け紹介していきたいと回答しております。

また、スマイルルーム「未来ある大切な朝来の子どもへの応援」として、通学所費を応援できないかと質問があり、教育長からデマンド型乗合交通の利用や近くの庁舎に指導員やアドバイザーを派遣するなど児童生徒の実態に合わせて対応するとともに、補助制度と併せて近隣市町の状況などを調査しながら研究してまいりたいと回答いたしております。

続きまして、通告5番の水田議員からでございます。15ページです。

「地域の誇りの醸成」ということで、「地域の誇り」を次世代に継承する大変重要な地域づくり活動であり、「活動人口」が少子高齢化と資金不足の中で先細りしているところもある。天然記念物・文化財など地域の誇りを守り、育てる支援策はお考えかと質問があり、教育長

から学校教育においては特色ある学校づくり事業として、ふるさとに愛着と誇りを持つ地域の体験的な教育活動を継続して行っている。また、文化財課による文化財調査をはじめ、朝来市の文化財の保護と活用につながる取組に対しての支援を行っており、これらの取組を通して貴重な文化財を持つ本市に誇りを持つ人づくりにつながっていくと考えていると回答しております。

また、進藤家住宅と原六郎に焦点を当て、「ふるさと教育」も可能になると思うが、どのようにお考えかと質問があり、朝来地域自治協議会の取組に対し敬意を表するとともに、このような人物が朝来市出身であることは地域にとってもとても誇らしいことであり、次世代に伝えていくことが肝要であると考えていると回答いたしております。

次に通告6番、加藤議員、17ページでございます。

「学校における個への対応と効率化の両立」ということで、「個別最適・協働的な学び」「柔軟な教育課程の実現」といった話と、「働き方改革の更なる推進」「教師の時間外在校等時間の削減の徹底」ということについて、この二つの両立は可能なのかと質問があり、教育長から、両立は可能と考えている。本市では特別支援教育の知見を生かした授業づくりのユニバーサルデザイン化に取り組んでおり、多様な子どもたちの可能性を最大限に引き出すことや、質の高い教師の育成にもつながると認識している。また、学校運営協議会の関わりは教職員の業務改善につながる取組として大いに期待をしているところであると回答し、また、「質の高い公教育の再生」のためには、これまで以上に学校教育予算の充実が必要だと考えるがいかがかと質問に対し、市長から教育費については未来を担う子どもたちにとって必要な予算だと認識しているという回答をしております。

次に、咀嚼・嚥下障害のある児童生徒向け、あるいは宗教上禁忌のある食材を除外した給食提供のため、給食センターの調理員を増員すべきと考えるがいかがかと質問があり、教育長から、専門の研修を受講し経験豊富な調理員が対応する必要があるとあり、急な調理内容の変更など学校から離れた学校給食センターでは対応することができない。今後も提供は控えたい。また、宗教上禁忌のある食材を除外した給食は、事前に保護者に成分表を提供し、当該児童生徒が喫食するかどうか、保護者に判断していただいていると回答いたしております。

続いて、「地域で子どもを育てる仕組みづくり」ということで、「あさご・夢学びプラン」の副題は「地域が共に創りあげる教育の推進」であるが、どのような地域性を生かして、地域ぐるみの教育を進めようと考えているのかとの質問に対し、教育長からふるさと朝来に愛着と誇りを持ち、自然や伝統文化、そこに暮らしている人々とのつながりを大切にするこゝで、子どもたちが朝来市で学ぶことができよかつたと思える教育の推進を進めていると回答し、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な取組は、市のプランでも目標と

して示されているが、どのような将来像を描いているのかとの質問に対し、コミュニティスクールや地域協働活動の一体的な取組であると認識しており、学校運営協議会を中心に少しずつ地域総ぐるみの教育の輪を広げていきたいと考えていると回答。

さらに、コミュニティスクールと地域学校協働活動では、一方で日常的な支援が足りていない声を聞くが、どのように考えるかと質問があり、学校運営協議会の活動により学校のコミュニティスクール化が実現することで、登下校の付添いや学習支援など力を貸していただくことも実現可能と考えていると回答いたしております。

次に、通告7番の浅田議員でございます。21ページを御覧ください。

「通学定期について」ということで、市内に住居があり、他市へ通う学生の通学定期に対して、市から補助はしているのかとの質問があり、教育長から市内から他市の市立中学校に通学している中学校生徒を対象とする市の通学費助成金等の制度がないので御理解いただきたいと回答し、「市内の各学校のPTAについて」ということで、市内の各小、中学校のPTAの存続等について、また苦情等は出ていないのかとの質問があり、本市では朝来市連合PTA協議会を組織しており、この協議会からPTAの存続に対する意見や活動に対する苦情等は聞いていないと回答いたしております。

最後になります。通告9番、藤本議員でございます。24ページを御覧いただきたいと思っております。

「地域の歴史遺産を守るために」ということで、地域の歴史文化遺産を後世に残すためにはどのような取組が必要であるかということや「文化財保存活用地域計画」の中に盛り込む必要があると考え、肝になるのは地域の若い世代に引き継いでいくことができるかどうかということだと思いが、どのようにお考えかと質問があり、教育長からこの計画の作成には、地域に残る歴史文化遺産の調査として、今後、市民の方々に調査をお願いすることも想定しており、その時期や方法、そして文化財課の関わり方などを現在研究中である。市民の皆様には歴史文化遺産も含めて、お住まいの地域を中心に若い方を含めた多世代で地域の歴史や文化を改めて認識したり、話題にしたりしていただくことなど意識の裾野拡大に御理解と御協力を賜りたいと回答いたしております。

また、地域に埋もれている「文化財」の掘り起こしも課題であるが、地域主導で、掘り起こしと報告、整理、管理体制の検討などを進めるためには、市の支援が必要だと考えるが、どのようにお考えかと質問があり、地域で継承されてきた歴史文化遺産を次世代に引き継いでいくこと、また、地元やふるさとのことを語れる人を育むことは、市の総合計画が目指す姿につながる大変重要な要素と認識している。地域の中にどんな歴史文化遺産があるかを若い世代の方と共有することや、必要に応じて文化財課に相談、活用いただくことも地域の財

産の掘り起こしにつながるものと考えていると回答いたしております。

さらに、若い世代に伝えるための勉強会などを地域で積極的に行っていただくよう支援することも必要と考えるが検討されてはどうかと質問があり、出前講座として地域や学校にプログラムを持っており活用いただくとともに、現地説明会やヘリテージ講座、講演会など、このような場もぜひ活用いただきたい。また、それぞれの地域自治協議会で開催されるイベントに参加もさせていただいているが、さらにこれを拡大していくことも検討していきたいと回答いたしております。

以上、12月議会定例会における一般質問の概要報告とさせていただきます。

○ 小倉畑教育長

ありがとうございました。報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

○ 委員

この間、和田山中学校に訪問に行かせてもらったときに、教室には入らないけれども、ここに来てという教室があったと、別の入り口から入って、それもすまいるルーム的な場所なのかなと思ったんですけれども、そういうようなところを広げていく、すまいるルームの活用というだけじゃなしにという方向性でもあるのですか。

○ 福田参事

すまいるルームを利用しながら学校へ通学できるようになっている子どもたちはおられるのかということで、今すまいるルームで過ごして学校に、要は教室に入れたい、でも一旦不登校の子たちを見ていただいたような不登校支援の教室に入って、まず学校の雰囲気のあるところに入る練習をする。そこから学級に上がるというステップで、不登校支援の教室をすまいるルームみたいにしようというのではなくて、すまいるは学校の匂いがしないところに、不登校支援室は学校の匂いがするところで教室、実際に行っている子たちは、教室に一旦不登校支援室から上がったりのみできるんですけれども、やっぱりしんどいって帰ってくる場所、そして、あんまりにもしんどいとまたぽんと一個飛んですまいるルームまで戻ってくるという子もいます。その段階を経ながらで子どもたちのエネルギーがたまったら学級へという流れで、その間の一つ、ワンステップのフロアができたというのは学校も非常に喜んでいきますので、この状況で。ちなみに来年度、県は数名人数を増やしたいと言っていますので、この不登校支援が本市に限らずにいろんなところで効果を発揮していて、本市も来年、今のところちょっと増員する予定でございます。

以上です。

○ 小倉畑教育長

ありがとうございます。校内サポートルームというような名称で、各中学校に1つずつ、

小学校4校に1校の割合でということで今年度始まったのですが、今、福田参事からありましたように、来年小学校に向けて拡張の方向性を持っているという段階でございます。

よろしいでしょうか。

○ 委員

はい。

○ 小倉畑教育長

ほかにはございますか。

○ 委員

PTAの苦情に関することがあったと思うのですが。

○ 小倉畑教育長

21ページの大きな7番の(1)番ですね。

○ 委員

ちょうど私がPTAに関わっているときに、任意加入の団体だよみたいなことになっていった経緯があって、ほとんど全員が加入するものだというようなところから任意という形になっていったと思うんですけれども、その後これを見ていてどうなのかなと、入ったり、入らなかったりすると、保護者同士のいろいろそれによる混乱はないのかなということがちょっと気になりましたので教えていただきたいです。

○ 田中部長

この質問の目的といいますか、それは他の市町でPTAが崩壊しているという状況がある中、朝来市ではもっときっちり踏ん張ってほしいんだというところで、こういう質問がされたということで私どもが調査しました結果、苦情等は一切聞いていないということがありましたので、それならいいんだというふうな回答をいただいています。まだまだPTAには朝来市の場合どんどん頑張っていただかないと、やっぱり学校に関わっていただく人を減らすということはもうこれはNGですので、もっともっと頑張っていたきたいということで議員さんには理解をいただいております。

○ 委員

任意加入が建前というようなことが、私が関わっているときにそういうことがみんなにもそれを知らせてという形になっていったと思うんですけれども、その現場としてそういう入ったり入らなかったりということは強制するものではないとは思いますが、私ども保護者、PTAとしての立場では、全員入ったほうがいいよなということは思っておったことなんですけれども、特にそれは。

○ 田中部長

実際、今の時代入っておられない方も数名あるのは確かなんですけども、苦情としてお聞きするようなことは一切ないということでございます。

○ 小倉畑教育長

この質問の文言に忠実に回答させてもらったということで、委員が御心配されている任意団体である加入に対しては若干の課題もあるということはあるんですけども、苦情としては今のところ聞いていないということで回答させていただいております。御含みくださいませ。

関連してありますか。

○ 委員

同じPTAに関してなのですが、このPTAの役員の決め方というのは各学校によってお任せという感じですか。

○ 山本次長

朝来市には連合PTA協議会の会長会がありまして、学校ごとに会長さんが出ておられるんですけども、各単Pでの選出方法をお示しいただいて、参考にさせていただくよう情報交換会を開催しております。情報交換会の中では、学校が関わっておられるところもあれば、単Pで決めておられるところもあります。今のところはそれぞれの方法で決めておられるようです。

○ 委員

はい。ありがとうございます。

○ 小倉畑教育長

関連してありますでしょうか。

ないようですが、20ページから25ページまでの間で、ほかに御質問ございませんか。

○ 委員

地域の歴史遺産のことがいつも話題に出るんですけども、程遠いなという感覚がすごくあるんですね。教育委員をやらせていただいてからいろいろな話を伺ったりとか、東河小学校に行ったときでしたか、パンフレットをいただいて、あの話は聞いていたけれどもああいうパンフレットできちんと目にすると、こういう歴史的な流れがあったんだなという理解ができる。

でも、なかなかそういうことに触れる機会というのが市民の中にあるのかと言ったら、ないのではないかと。竹田城のことにしても古墳のこと、いろんなところのものに関してケーブル放送では時々流れるんですけども、多分ケーブル放送を聞いているほうが夜の7時ぐらいになったら流れる7時半になったら流れる、多分うるさいなと思って音を小さくするというのが、もうあれ絶対そういうふうになるんですね、長いし。だから、いいものがあつ

たとしてもなかなか引っかかかっては来ないというようなどころがあるんです。その辺のところ子どもたちもそうなんだけれども、大人ももっと朝来市の中のことというのは知らなきゃいけないと思うんです。情報がいっぱい、こんなを出しているよ、出しているよというのはあっても、その情報を受け取る側がほとんど拒否状態になっているというのが実態じゃないかなと思うんですね。

だから、前に郷土史研究とかいうようなことで、文化教室でそういうふうなのがあったと思うんです。朝来市の中とか、朝来市からちょっと離れて出ていっていろんなところを見て回るとかいうようなことがあって、うちの母なんかはその年代の人たちは好きで結構誘い合っていて行ったというのがあるのですが、それもいつの間にかなくなってしまったというような形なんです。いいものは残してもらいたいし、そこにいろんな人が入って行って朝来市のいろんなことを知っていくという機会が、もっと朝来市の中であっていいんじゃないかなと思うんですけれども、それがこういうふうにして出てくるたびに何だかかけ離れていて残念だなと思うところです。

○ 田中部長

委員がおっしゃるとおりのところもございまして、今回、藤本議員の質問の中で地域計画を策定する必要があるんじゃないかということで、地域計画もそんな簡単にできるものではないんですけれども、まさにその地域計画によって地域の方と文化財というものをより密接なものにしていくという必要があるのですが、いきなりということも無理がありますので教育長の答弁でもありますように、若い人も含めた多世代の方にこういった意識を、意識の裾野といいますか、それをもっと拡大していく取組を来年度あたりから少しずつ進めていきたいなということをお答えさせていただいたところでございます。

○ 小倉畑教育長

福田参事が教育委員会の点検と評価で申し上げましたけれども、情報の発信というのは課題だと思いますし、文化財のことに関しましても今第4期の教育振興基本計画を策定するアンケートの中でも、文化財に関してはそういう効果的な発信ができていないかという回答については十数%の回答なんです。そういったあたりでやはり課題も感じておりますし、出せばいいというのではないということも今御指摘いただきました。とはいえ、なかなか難しい面があるんですけれども、御意見、今いただいたことも参考にさせていただきながら、また改善を図るよう、また文化財課とともに考えていきたいと思っております。関心を持っていただいて、こういう御意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

全体を通して、議会の一般質問はよろしいでしょうか。

○ 委員

一つお伺いしたいんですけれども、市議会議員さんたちというのは、私たちがやっているような学校訪問をされたりというようなことはあるのですか。

○ 小倉畑教育長

議員さんの学校訪問ということに関して、いかがでしょうか。

○ 田中部長

ないと思います。

○ 委員

それをされたいということも言ってこられないんですか。

○ 田中部長

そのような御意見はいただいておりません。

○ 委員

そうなんですか。

○ 小倉畑教育長

ただ、文教民生常任委員会が議員さんの担当ということになっていますので、何か課題がある場合は、そこが学校に視察というか、調査に行かれるということはないことはないと思いますけれども、皆さんこぞってとかいうことは現在のところはないです。

これでよろしいですか。

○ 福田参事

個人的に学校の校長先生のところに話しに行かれるということはありますけれども、子どもたちの様子を見に行かれるというのは聞いていないです。

○ 小倉畑教育長

大蔵小学校のときには、議員さんが地域の別の役と兼ねてらっしゃって校長室に見えたり、またその役柄で給食を食べに来られて、そして学校の中に、給食を食べに来られたら私が結局プログラムをつくってぐるっと案内しましたので、子どもたちの様子を見てもらったりとかはしましたけれども。あとは個人的に今参事が答えたような個人的に校長先生を訪問されて調査をされるとか、質問されるとかいうことは実際あると思います。

よろしいですか。

○ 委員

はい。

○ 小倉畑教育長

もっと行ってほしいということですか。

○ 委員

いえ、毎回毎回いろんなことが出てくるんですけれども、そういうことをきちんと目にされた上でのことなのか、何かもうちょっと違うところから質問の内容にしても、上のほうからぼんと投げてかけてらっしゃるような感じがすごくするので、どうなんですか、こうなんですかと言われる前に、もし見に行けるんだったら子どもたちのことを見に行くとかということも一つなんじゃないかなと思いますし、それからこの会議も見に来ることができるんですよ。

○ 小倉畑教育長

そうですね。

○ 委員

だけでも、私は今までの中で一回として議員さんが来られたとかいうこともないですから、それだけで興味があるのか、ないのかという基準にはならないとは思いますが、でも何か前回のホームページに出ているものを見て行ってみようとか、聞いてみようとかというのがあってもいいのかなと思うんですが、見に来られたら困る部分もあるんですけれども、でもそういう接点がまるで議員さんたちとの間にないので、その辺のところは少しおかしなことだなというふうに肌感覚で感じる場所です。

○ 小倉畑教育長

率直な御意見をありがとうございます。貴重なことだと思いますし、議員さんの中には質問する際に教育委員会だとか、学校に調査というか質問に行かれてということはされている方も多と思いますし、また教育制度については市民の方があんまり御存じないというか、認識が広がっていないから自分が質問することによってそういった制度のことをよりかみ砕いて市民の方に伝えたいという思いを持たれている方もいますし、時と場合によるとは思いますが、でも実際にここに見えたことがないのでそのことは確かに課題と言えば課題だと思いますので、その辺は踏まえて今後の対応も考えていきたいなと思います。ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

そうしたら、一般質問の内容が多くなりましたが、続いて報告の(2)に移りたいと思います。報告(2) 令和7年朝来市二十歳を祝う会について、学校教育課から報告いたします。

○ 山本次長

それでは資料の3ページ、報告2を御覧ください。

令和7年朝来市二十歳を祝う会につきまして、説明させていただきます。

令和7年の二十歳を祝う会が、令和7年1月12日、日曜日に生野マインホールで開催されます。その概要につきまして、報告させていただきます。

式典は午後 1 時からで、オープニングとしまして少年少女オーケストラの演奏があり、市長式辞、来賓祝辞、二十歳の代表による謝辞となっております。

その後、午後 2 時から、二十歳のつどい実行委員会による二十歳のつどいが行われます。

最後に、旧町単位で記念撮影が行われます。

今年の二十歳を祝う会の対象者でございますが、12 月 10 日現在で男性 144 人、女性 129 人、合計 273 人となっております。

教育委員の皆様も、来賓としてお世話になりますがよろしくお願いいたします。

以上で、報告 (2) 令和 7 年朝来市二十歳を祝う会についての説明とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

それでは報告 (3) 令和 7 年度入学式の日程について、学校教育課から報告いたします。

○ 福田参事

資料等は御用意しておりません。途中経過の御報告という形になります。現在、令和 7 年度 4 月の 7 日が始業式、これは例年と変わりません。今までであれば、4 月の 8 日、翌日が入学式でしたが、来年度の令和 7 年度は 4 月 9 日の水曜日を入学式で今動いております。一日、間を置く形にしております。ここに至った過程を少しお時間いただいて、御説明させていただきます。

教育長からいつも「できないことをあげつらうのではなくて、できることをやっていきなさい」という指示をいただいています。今回、市議会議員をはじめ多くの方から、学校に配置する人を増やみなさいというアドバイスをいただくわけですが、いろんな条件で人を増やすというのはとても難しいです。しかし、先生方が子どもたちと向き合うのに心のゆとりを持って、いい一年のスタートにしてもらうために何か方法ないかというので、他市町で実施していることもあり、年度初めの一番忙しい中で、入学式というきちっとしなければならない儀式的行事な行事を実施するのは学校にとって大変大きな負担となっております。一日空くことによって、まずは年度当初子どもたちと向き合っているいいスタートを切れる状況と事務的なことを行ってから、入学式の準備をし、新入生たちを気持ちよく迎えたいという思いで一日、間を置かせていただくような状況にしました。

とにかく業務改善に向けて、人が増えれば楽になるかもしれませんが、まずは心にゆとりをもって子どもたちといい向き合い方をしてもらいたいという教育長の思いがあり、このように一日、間を置かせていただくことになりました。当然確定いたしましたら、教育委員の皆様も例年から一日遅れの 4 月 9 日の入学式ということになります。確定次第、また担当の

片岡から御連絡させていただこうと思いますが、そうなったときには御了承いただきたいと思っています。

このようにできることから前に進めていくという観点から部活動改革にも取り組んでいきたいと考えております。それと同時に事業を廃止する勇気も持ちたいと思っています。事業がなくなっても、必要とあらば形を変えて実施されるのではないかと考えております。従いまして、学校教育課ではいろんな場面で「つくる」という言葉を入れています。文化的な郷土意識研究がなぜなくなったかといったら、持続が難しいからです。でもやりたいと思ったけど、これを維持するための場所であったり、お金であったり、いろんな条件で維持が難しい。だから残念ながら…、ただ廃止した事業であっても少人数であろうと新しい形で立ち上げられたものでもできる形で援助していきたいと考えております。学校であれば、モデル校として「本校ではこういうことをやっていきたい」うまくいったらほかの学校にも広げていくという順番で事業を推進したいと考えております。今までであれば、市教委中心に一斉に、「やりなさい」と指示していましたが、現場の声を反映できるようモデル校を設定し、モデル校に教育委員会が協力していき、効果があった取組は広げていくという流れを構築したいと考えております。そのきっかけが特色ある学校づくり事業ですし、何よりも学校運営協議会です。学校運営協議会で、「よし、よその学校とは違うけど、うちはこうして行こう」というところがあればうれしいなと思っています。

おそらく近いうちに話題になるとと思いますが、授業時間の見直しが求められると想定しております。法で決められたトータルの授業時間は十分クリアできているのですが、教科によってはギリギリの学校もあります。トータルは十分なのに、教科によってはギリギリっておかしいと思われませんか。理由は、学校行事です。行事が多いんです。行事に割く時間が多いんです。業務改善には学校行事の削減が有効です。しかし、「この行事はうちの校区ではとても大切なもの、これは他校では重要かもしれないけどウチでは…」なんてこともあります。どれを分厚くして、どれを薄くしていくかという精選が必要になります。運動会はやっぱり日曜日にしないといけないですか。保護者は平日でも早い段階から御案内しておけば休みを取れるという声もあります。平日の午前中の開催も可能です。でも、ある校区は「やっぱり子どもとお弁当を一緒に食べたい」というところもあります。午前中に小学校の運動会をして、昼から地域の運動会をしたい。多様な意見があります。しかし、市議会議員の方をはじめ教育委員の方や学校運営協議会から「教育委員会として方針はないのか、市で統一して対応した方が良いのではないか」というご意見をいただきます。統一して行うべきものももちろんありますが、それだと結局今までどおりになってしまいます。

ですから、そこを変えていかないと、みんな一緒ではなくて、できるところから着手し、

「これが良かった」という取組が口コミで広がって最終的に全校に普及していたという形をめざしています。それが先ほど教育長からあった情報発信に関する課題解消の一つにはなるかなと考えております。良いものは口コミで広がっていくので。ですから、教育長は常によかったことを前に出しなさいと言って、事務局職員に指示されます。「こういうところよかった」と聞けば、「良いんだったらやってみようかな」と広がっていくことを見越しての指示と判断しております。

こうやって少しずつでもより良いものにしていこうとしていることの見える化の一つとして、この入園式を一日遅らせることにしております。これは学校からの要望を受けてのもので、学校にとって一番の希望は人を配置することなんです。入学式を1日後ろにするということができることとして、関係機関と協力しながらやっところまで来たという感じです。

まだ確定しておりませんが、一日遅れの入学式を御了承いただけたらと。これには、こども園の入学式の変更をはじめ、いろんなところに波及していきます。定例の教育委員会の日程もいつもと違う時期に設定させていただくかもしれません。御迷惑をおかけするかもしれませんが、こういう思いでいるということを知っておいていただけたらということでお時間をいただきました。

○ 委員

今月だったかな、地域の配りものの中に教育委員会が入っておりまして、いろんなちょっと細かい進捗みたいな、あれはこれまでにはなかった。

○ 小倉畑教育長

部活の関係、学校運営協議会のものですね。

○ 福田参事

それは地域移行に向けてずっと10月から載せている分で、今まではありませんでした。

○ 委員

それが一つのそういう発信される取組かなと思いつつながら、私も見させていただいたのですが。

○ 福田参事

今までにないものはそうですね。なるべく知っていただきたいということで、部活動も地域の方の御協力がないと、とてもじゃないですけども前に進まないの。

○ 小倉畑教育長

広報には載せていく方針です。

○ 委員

割とうちらの地区でいうと、広報とかがいっぱいどさっとくるんですけども、その中に

小学校、中学校、梁瀬地区、山東の場合は小中があって、意外というか、その地域は見ておられると思います。行事の内容とか、あれを見て結構把握、私よりちゃんと見てはる人がいると思うので、デジタル的なものもそうですけれども、高齢化の中で言えば紙媒体が意外と、と言ったらあれだけでも、あれだけいろいろ来る中で結構周りの方々、高齢の方を中心にしておられると思うので、そこも大切にというか、和田山とかほかはどうなっているか分かりませんが、私の周りでは少なくとも結構あれは見ておられる、子どもの様子も学校の様子もそれで把握しておられる方が多いと思うので、ぜひ紙媒体も。

○ 福田参事

ありがとうございます。

○ 小倉畑教育長

ありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。

ないようですので、報告(4)に移ります。教育委員会行事予定について、学校教育課から報告いたします。

○ 山本次長

それでは、報告(4)教育委員会行事予定につきまして説明させていただきます。

資料4ページ、別紙2を御覧ください。

本日から1月末までの予定を記載しております。主なもののみ説明させていただきます。

12月24日、火曜日、12月議会の最終日となっております。

12月27日、金曜日、仕事納めです。

年が明けまして、1月6日月曜日、仕事始めです。

1月8日、水曜日、第9回校長会を開催します。

1月9日、木曜日、朝来市商工会主催の「賀詞交歓会」が開催されます。

1月12日、日曜日、二十歳を祝う会が開催されます。

1月20日、月曜日、第10回定例教育委員会を予定しております。

1月30日、木曜日、第3回朝来市部活動の在り方検討委員会を開催します。

以上で、報告(4)教育委員会行事予定についての説明とさせていただきます。

○ 小倉畑教育長

以上で、本日の報告事項は終わりましたが、ほかにも各課から報告事項はありますか。

ないようですので、8のその他に移ります。次回、教育委員会の日程について、事務局から説明いたします。

○ 事務局

それでは、次回の日程でございますが、1月20日月曜日、午前10時から場所は本庁舎

403 会議室で開催しますので、よろしくお願いいたします。

次回の日程につきましては、以上でございます。

○ 小倉畑教育長

それでは、次回のことにつきましては今あったとおりです。

以上をもちまして、令和6年度第9回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午前10時07分